

2016年11月7日

2017年3月期 第2四半期 決算説明会

孫 正義

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

本資料中のスプリント・コーポレーション（以下「スプリント」）に関するいかなる記載も、当社がスプリントに対する投資家としての立場から行っているものに過ぎず、スプリントを代理して、又はスプリントのために行われたものではありません。本資料中のスプリントに関するいかなる情報も、スプリント自体が今後行うあらゆる開示に服します。スプリント及び当社はいずれも、スプリントが今後行う開示に関連して、又は今後発生する事象を反映するために、本資料中の情報を更新する義務を負いません。本資料におけるいかなる記載も、スプリントが自ら開示等を行う義務を構成するものとして解釈されてはならないものとしします。

連結業績

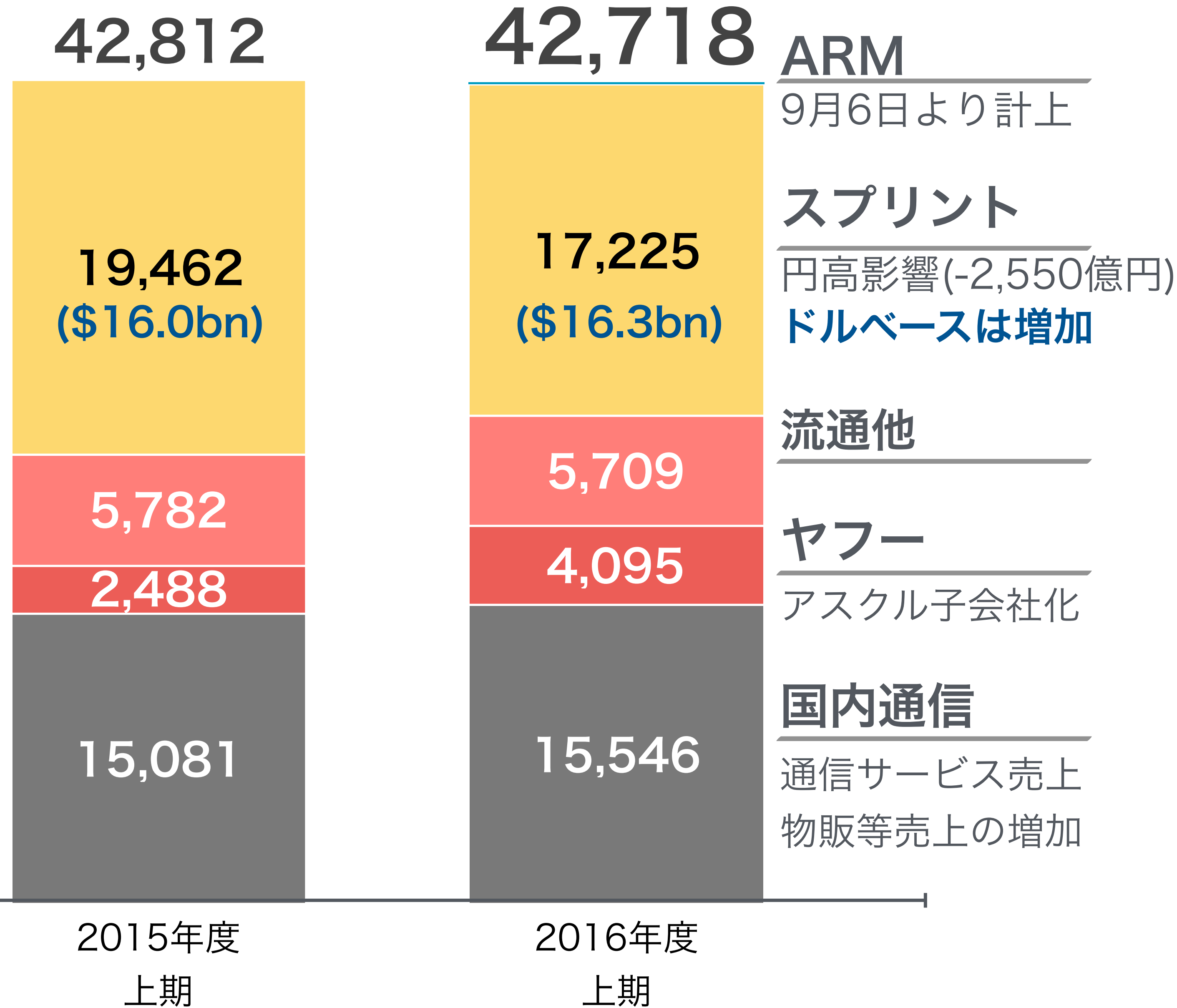
連結業績

(億円)

	2015年度 上期	2016年度 上期	増減額	増減率
売上高	42,812	42,718	-94	-0.2%
調整後 EBITDA	12,505	13,339	+834	+7%
営業利益	6,319	6,539	+220	+4%
当期純利益	4,267	7,662	+3,395	+80%

売上高

(億円)



0.2%減

(為替レート)
2015年度Q1 : 121.34円 / 米ドル
Q2 : 121.91円 / 米ドル
2016年度Q1 : 109.07円 / 米ドル
Q2 : 102.91円 / 米ドル

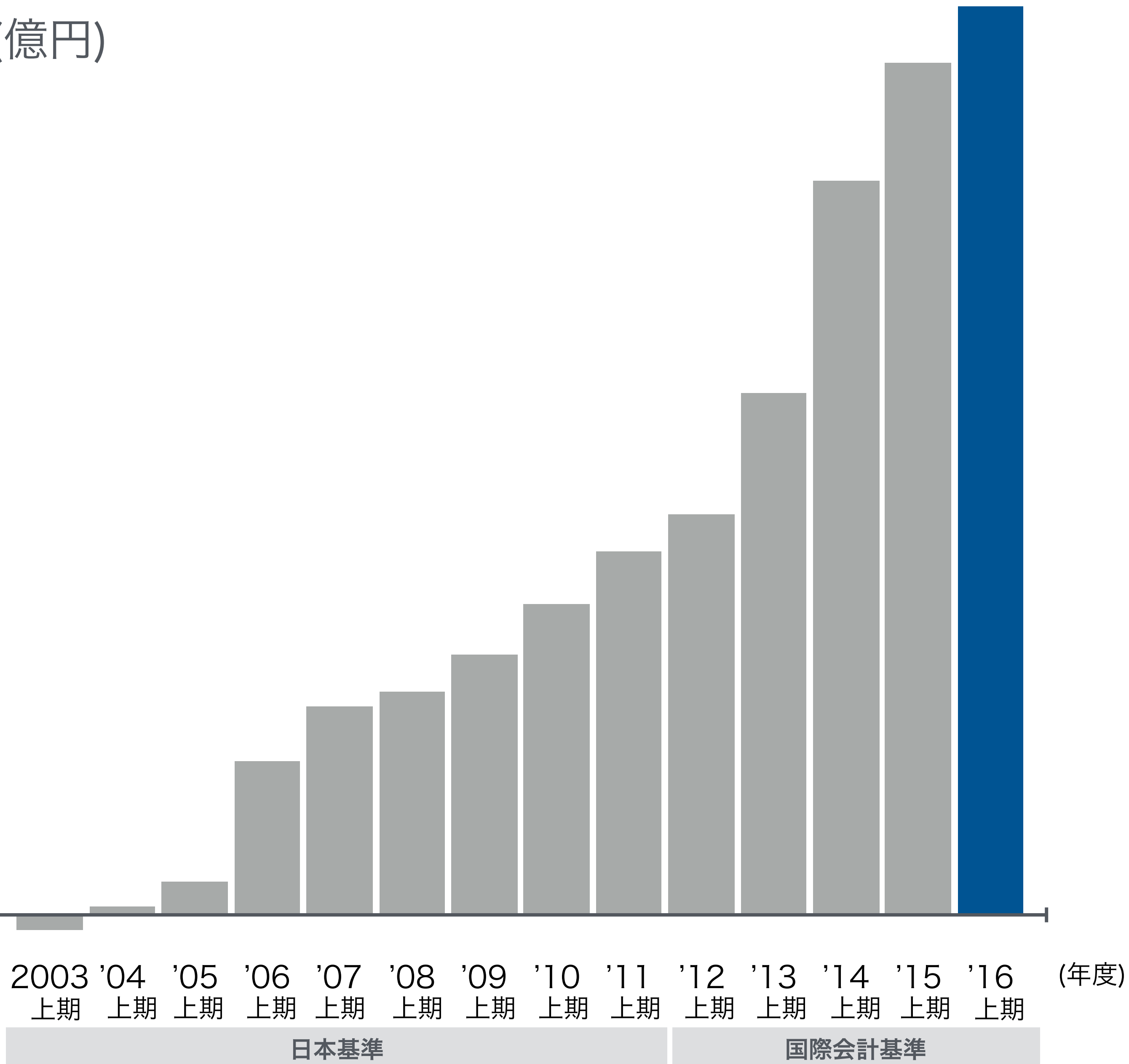
流通他=流通+その他+調整額

調整後EBITDA

(億円)

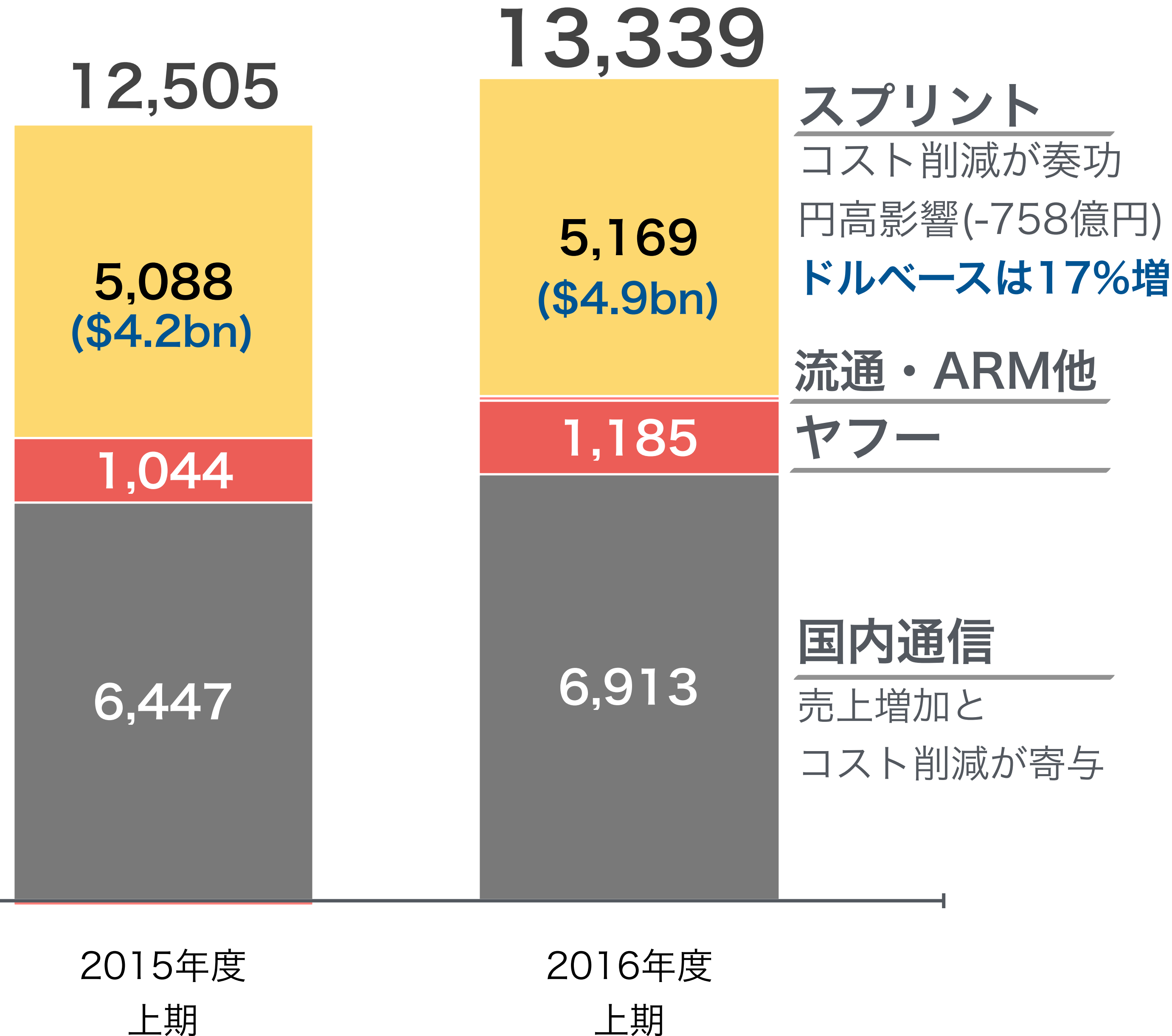
13,339

順調に成長



調整後EBITDA

(億円)



7%増

(為替レート)
2015年度Q1 : 121.34円 / 米ドル
Q2 : 121.91円 / 米ドル
2016年度Q1 : 109.07円 / 米ドル
Q2 : 102.91円 / 米ドル

流通・ARM他=流通+ARM+その他+調整額

営業利益

(億円)

6,539

順調に成長

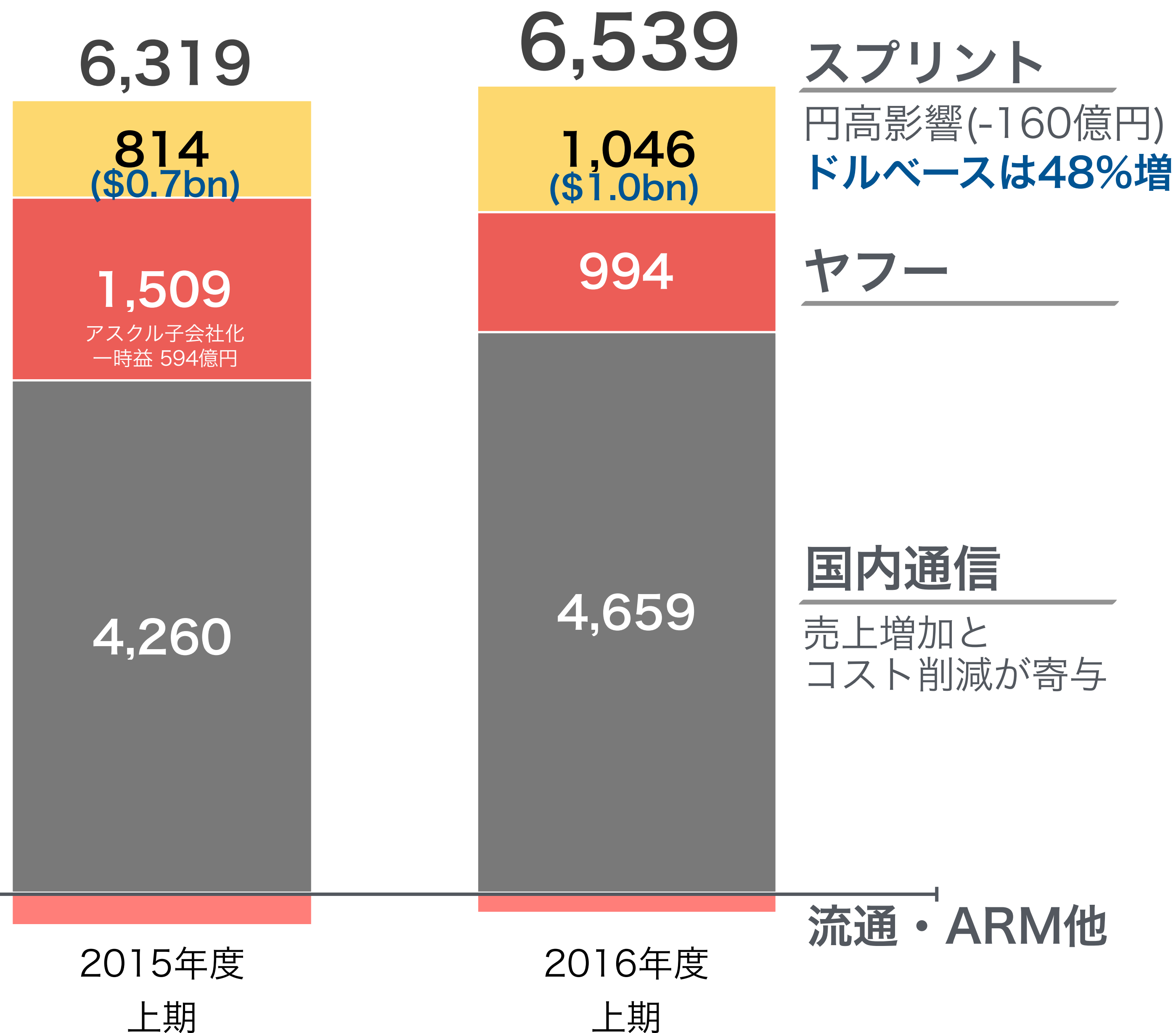


* 2013~2014年度：ガンホーおよびスーパーセルの影響額を控除

* 2013年度はガンホー・ウィルコム子会社化に伴う一時益等を除く

営業利益

(億円)



4%増

(為替レート)

2015年度Q1 : 121.34円 / 米ドル

Q2 : 121.91円 / 米ドル

2016年度Q1 : 109.07円 / 米ドル

Q2 : 102.91円 / 米ドル

流通・ARM他=流通+ARM+その他+調整額

純有利子負債 EBITDA倍率 (連結)

数年以内に
3.5倍へ

6.2倍 (ボーダフォン日本法人買収直後)



06年 07年 08年 09年 10年 11年 12年 13年 14年 15年 16年 16年
6月 3月 3月 3月 3月 3月 3月 3月 3月 3月 3月 9月

*1 2014年度の調整後EBITDAは、ガンホーの持分法適用関連会社への異動に伴う遡及修正をした数値
*2 2011年度まで：日本基準、ファイナンス・リースおよび優先出資証券含む
*3 ARM事業の調整後EBITDAを年換算
*4 Supercell売却による収入考慮後
*5 ハイブリッド債で調達した金額の50%を資本とみなして算出
(注) 株式先渡契約金融負債を有利子負債から除いて算出。

主要セグメントの状況

ハイライト

Sprint



1. 業績は好調 (営業利益 +9%)

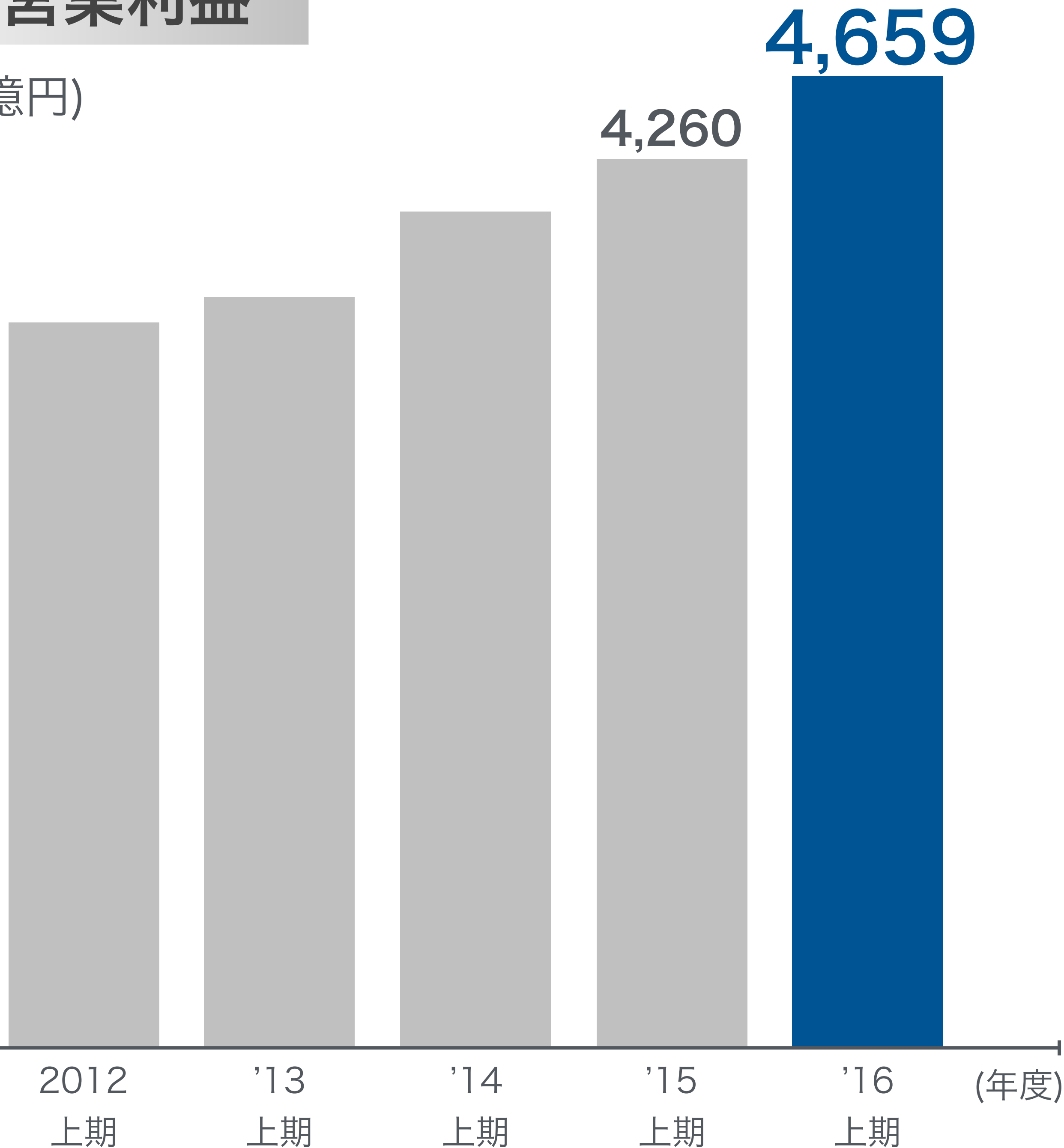
YAHOO!
JAPAN

2. スマホ・光を中心に成長加速

ARM

3. 2016年度 FCF 5,000億円に変更なし

(億円)



順調に成長

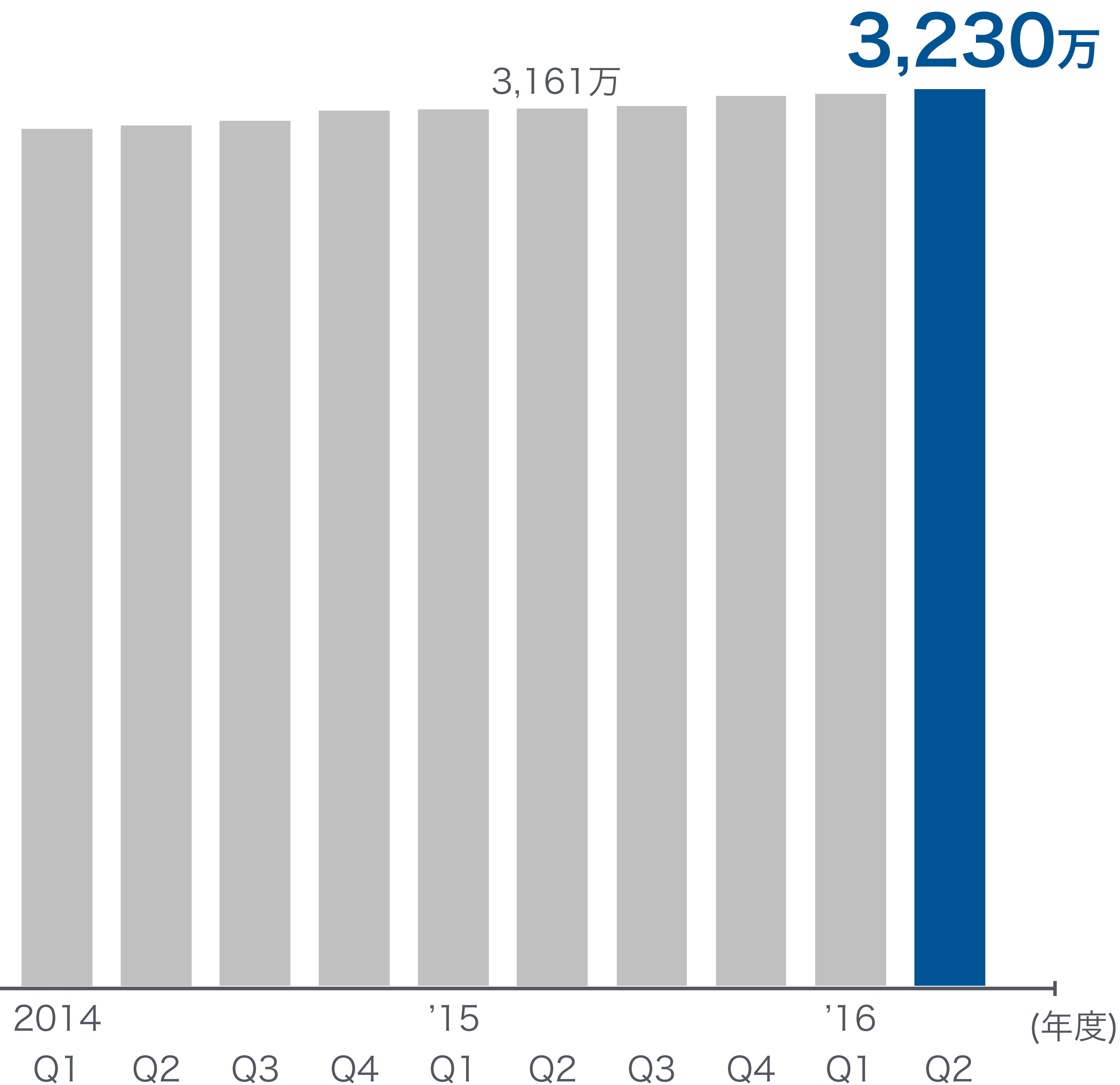
9%増

*2012～2016年度：国際会計基準

2014年度以降：国内通信事業

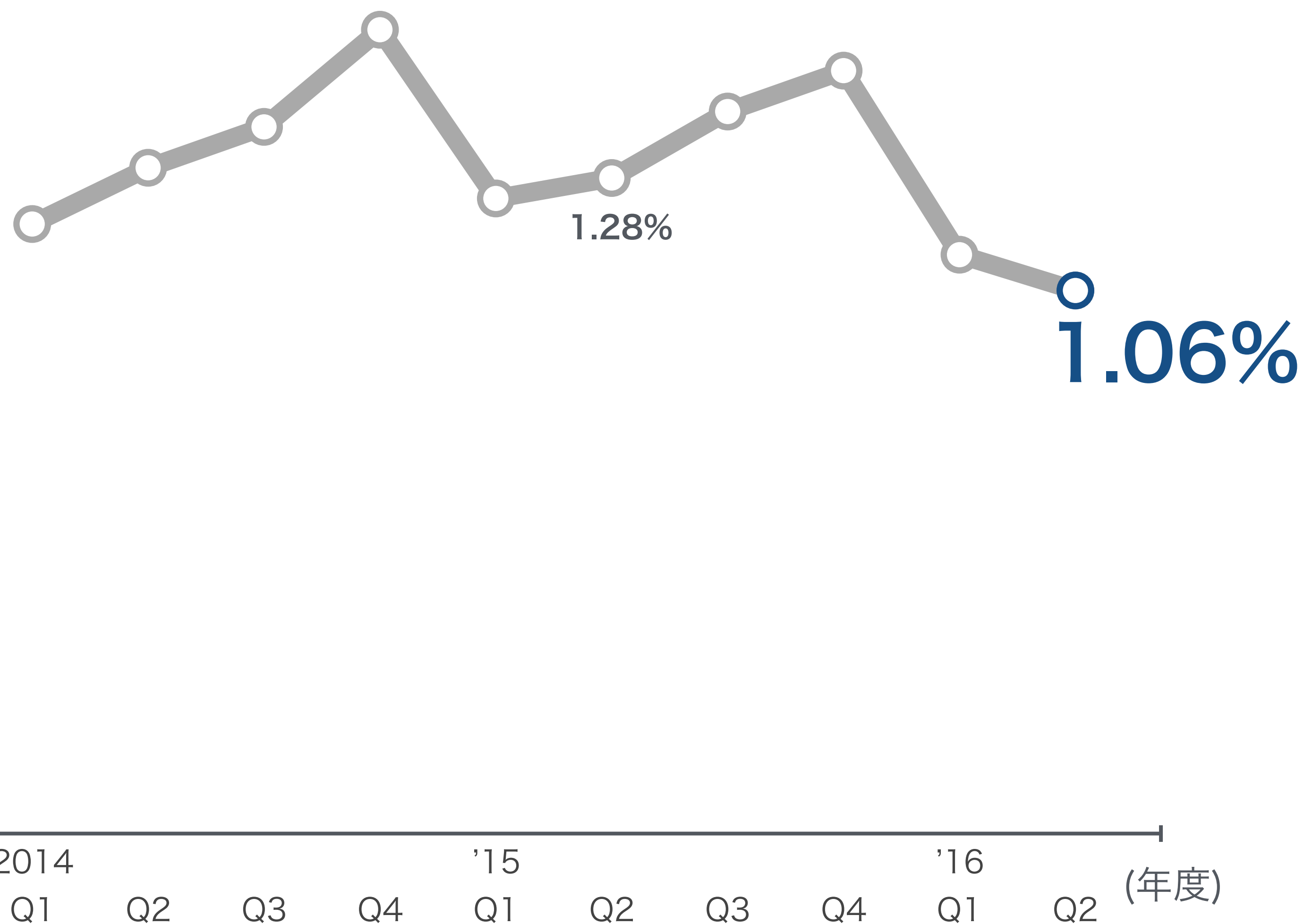
2013年度以前：移動通信事業 + 固定通信事業 + ブロードバンド・インフラ事業 12

累計契約数 (主要回線)



堅調に推移

前年比 +69万



大幅に改善

“SoftBank”ブランドが改善

(光バンドルサービス効果等)

様々なニーズに対応

①コスト重視

Y! mobile

1,980円/月^{*1}

②大容量

ギガモンスター

20GB 6,000円/月^{*2}
63%OFF^{*3}

③長期ユーザー

長期継続特典

ポイント15,000円分^{*4}

④光回線

おうち割 光セット

2,000円/月 割引^{*5}

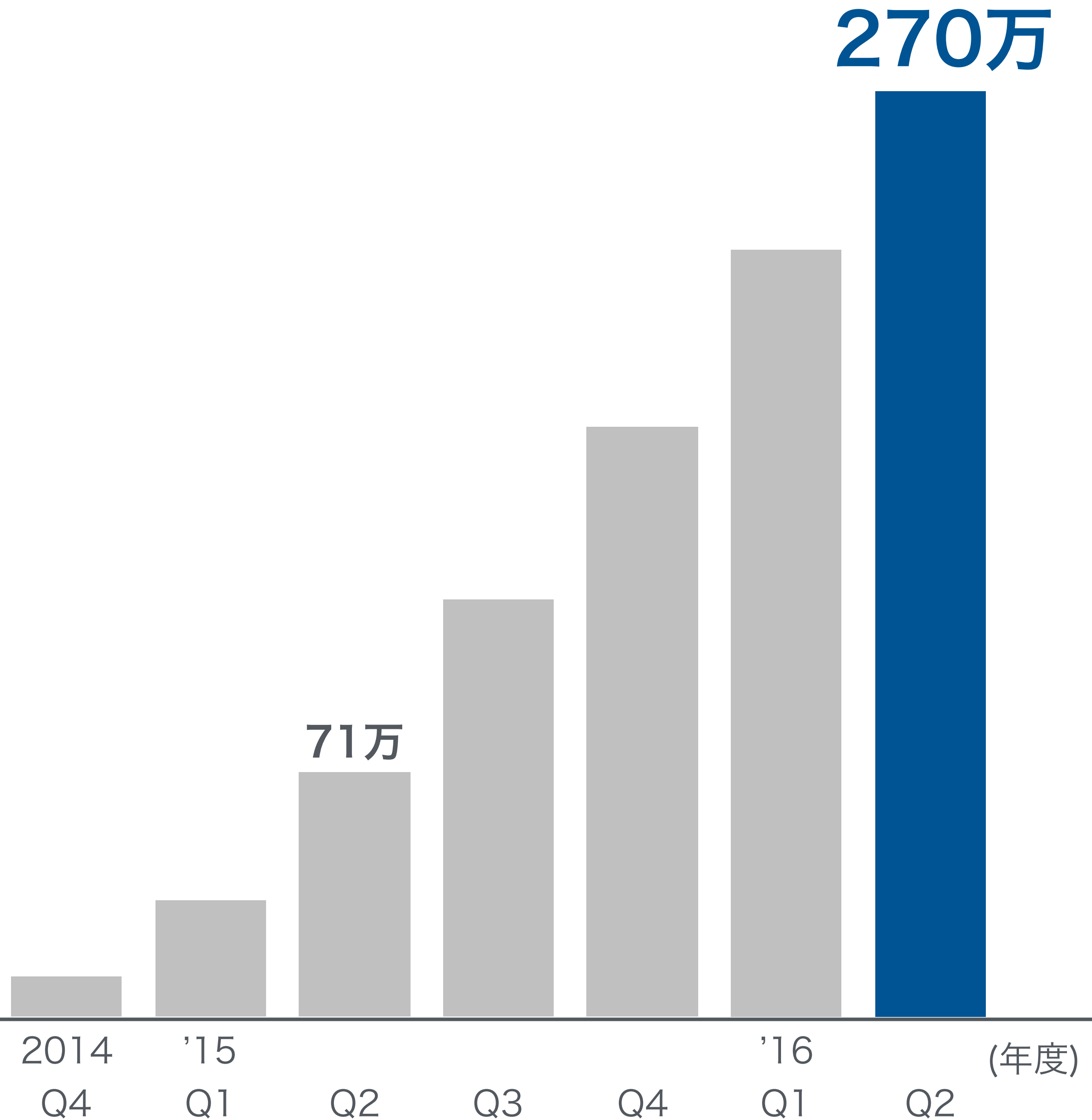
^{*1} 通話およびデータ通信料込み。「スマホプランS」で「スマホプラン割引」・「ワンキュッパ割」適用時。契約翌月から12カ月間で、13カ月目以降は2,980円/月。

^{*2} データ定額サービス。

^{*3} 「ギガモンスター」導入前の20GBデータプランである「データ定額パック・大容量(20)」(16,000円/月)からの値引率。

^{*4} 2年間最大。「Yahoo!ショッピング」などYahoo! JAPANサービスで使える期間固定Tポイント。2016年12月開始予定。

^{*5} 2年間最大。「データ定額30GB」にご加入で、「おうち割光セット 増額キャンペーン」適用時。

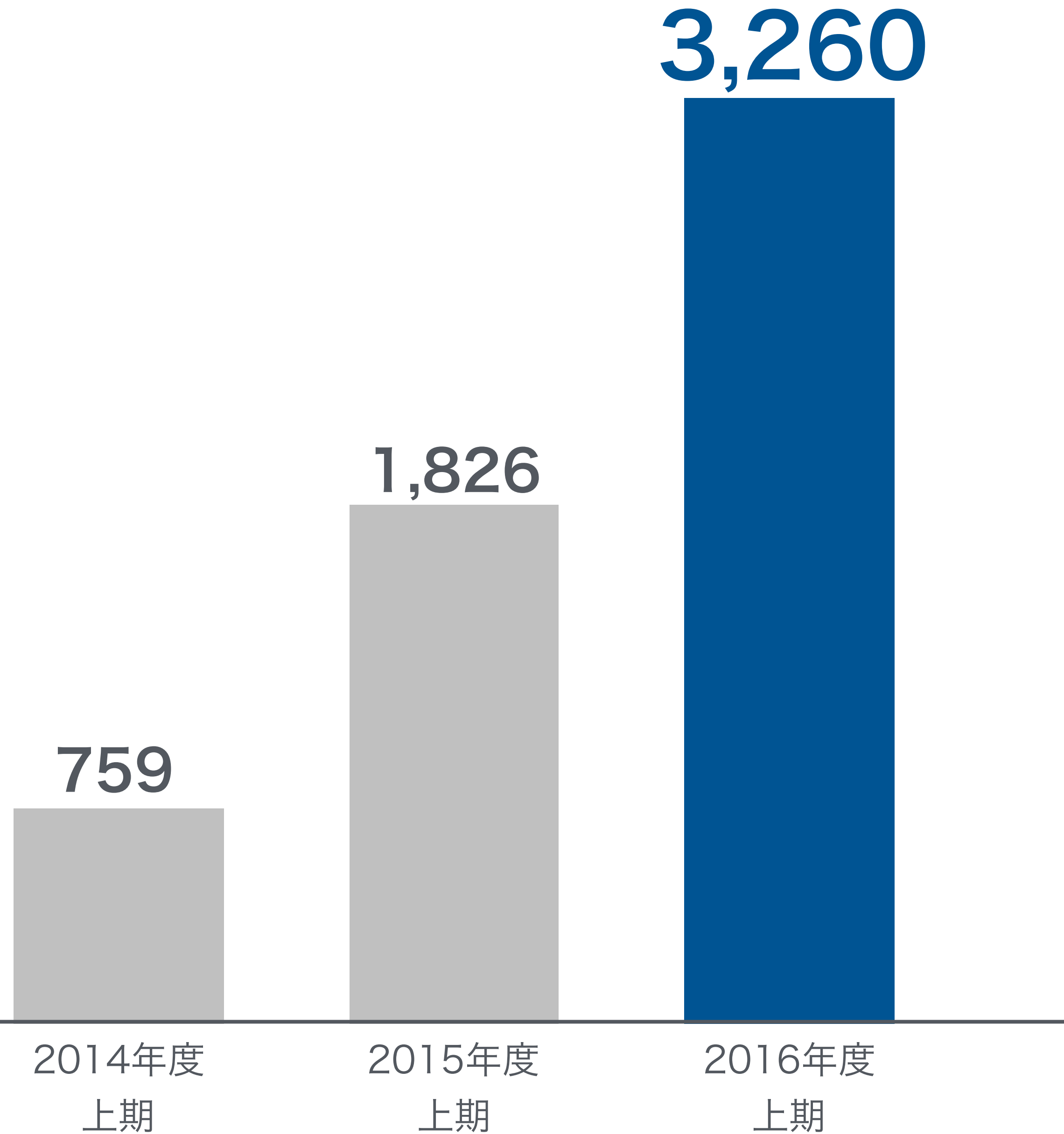


急成長

SoftBank 光

フリーキャッシュフロー

(億円)



大幅に増加



1

増益を継続 (12期連続増益へ)

2

FCF 5,000億円へ

3

スマホ・光に注力

4

ヤフーとのシナジー/新領域を拡大

Sprint



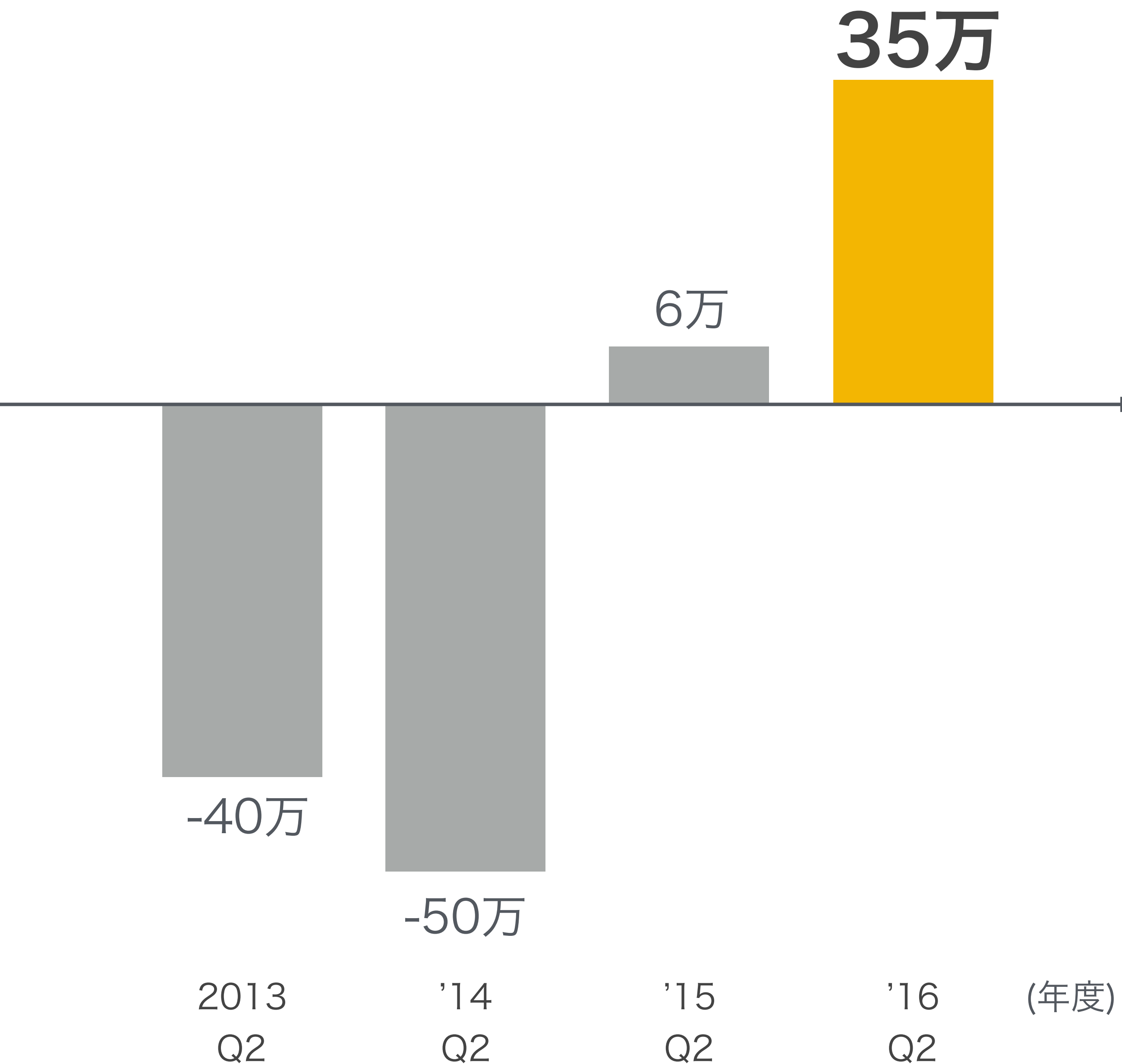
YAHOO!
JAPAN

ARM

ハイライト

1. 業績は好調 (調整後EBITDA +17%)
2. 反転戦略が順調に進展
3. 2016年度 調整後FCF ゼロ近辺へ

純増 (ポストペイド携帯電話)



前年比 **5倍** 以上
2四半期連続 MNP純増



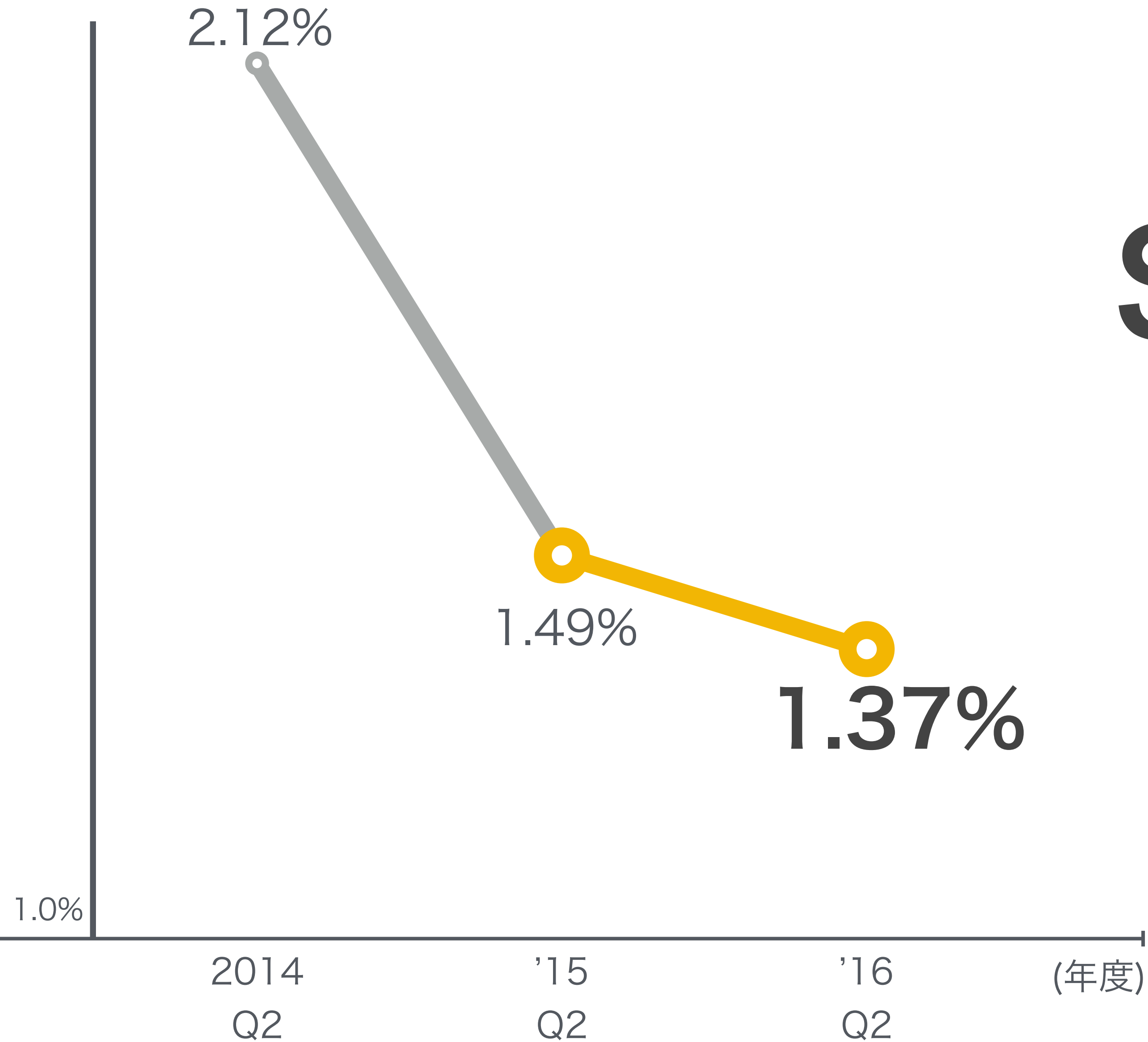
Sprint CMタレント
Paul Marcarelli

*Q2 : 7月~9月

*スプリントプラットフォーム

*MNP純増 : 大手競合3社それぞれに対して

Sprint史上最良

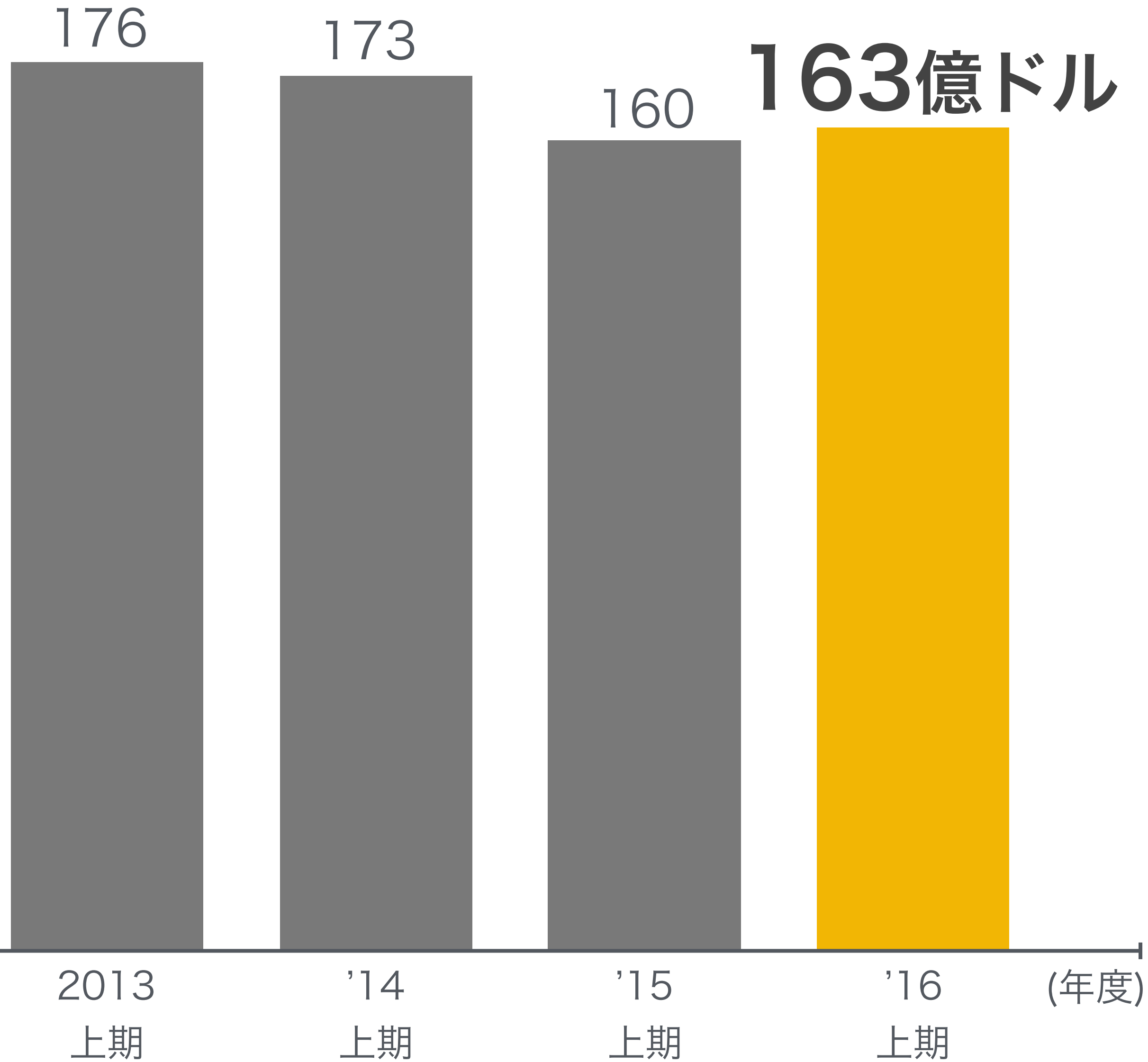


*Q2: 7月~9月

売上高



米国会計基準 (億ドル)



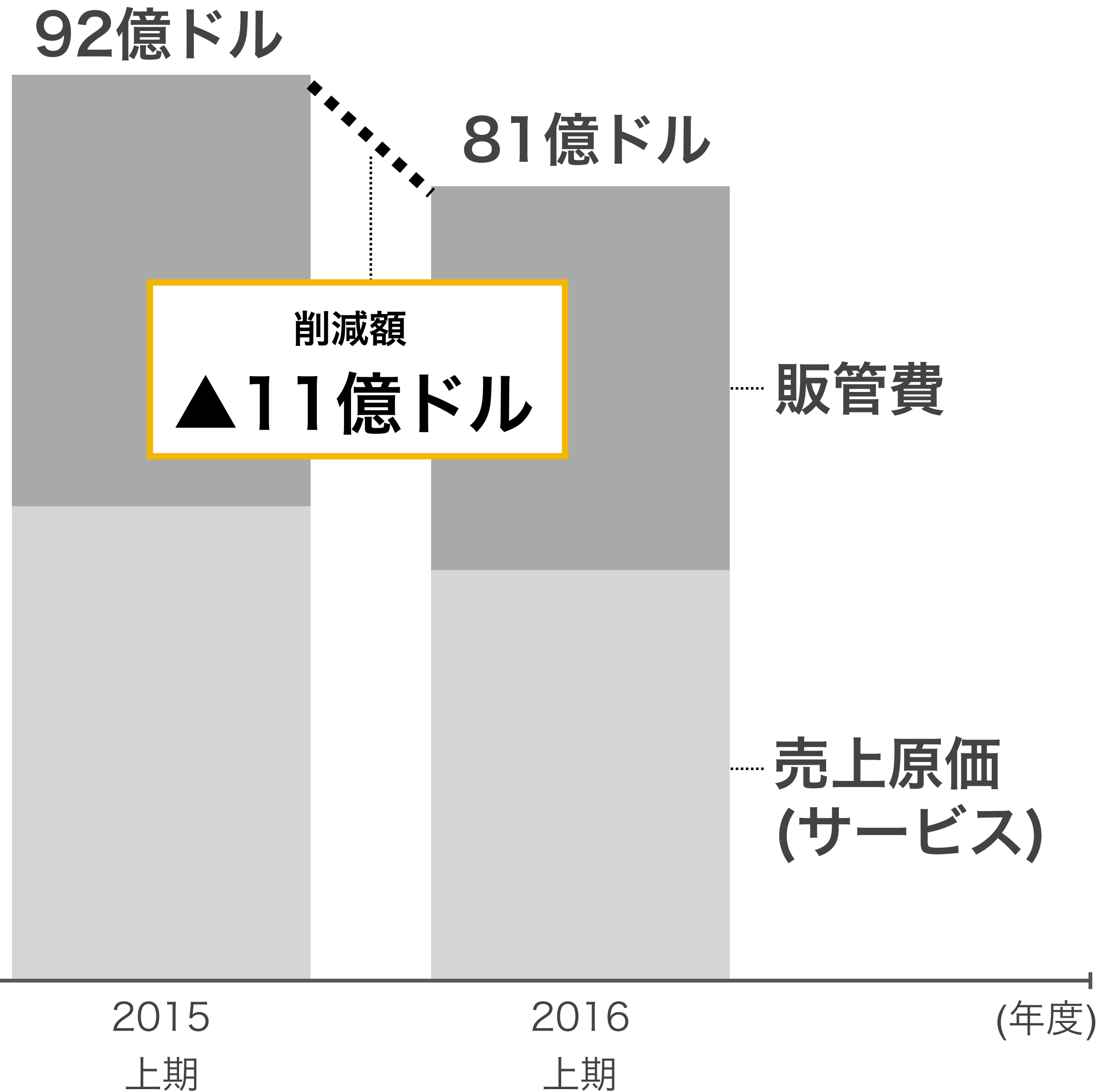
増収へ

*上期: 4月~9月

コスト削減



米国会計基準 (億ドル)



大幅に削減

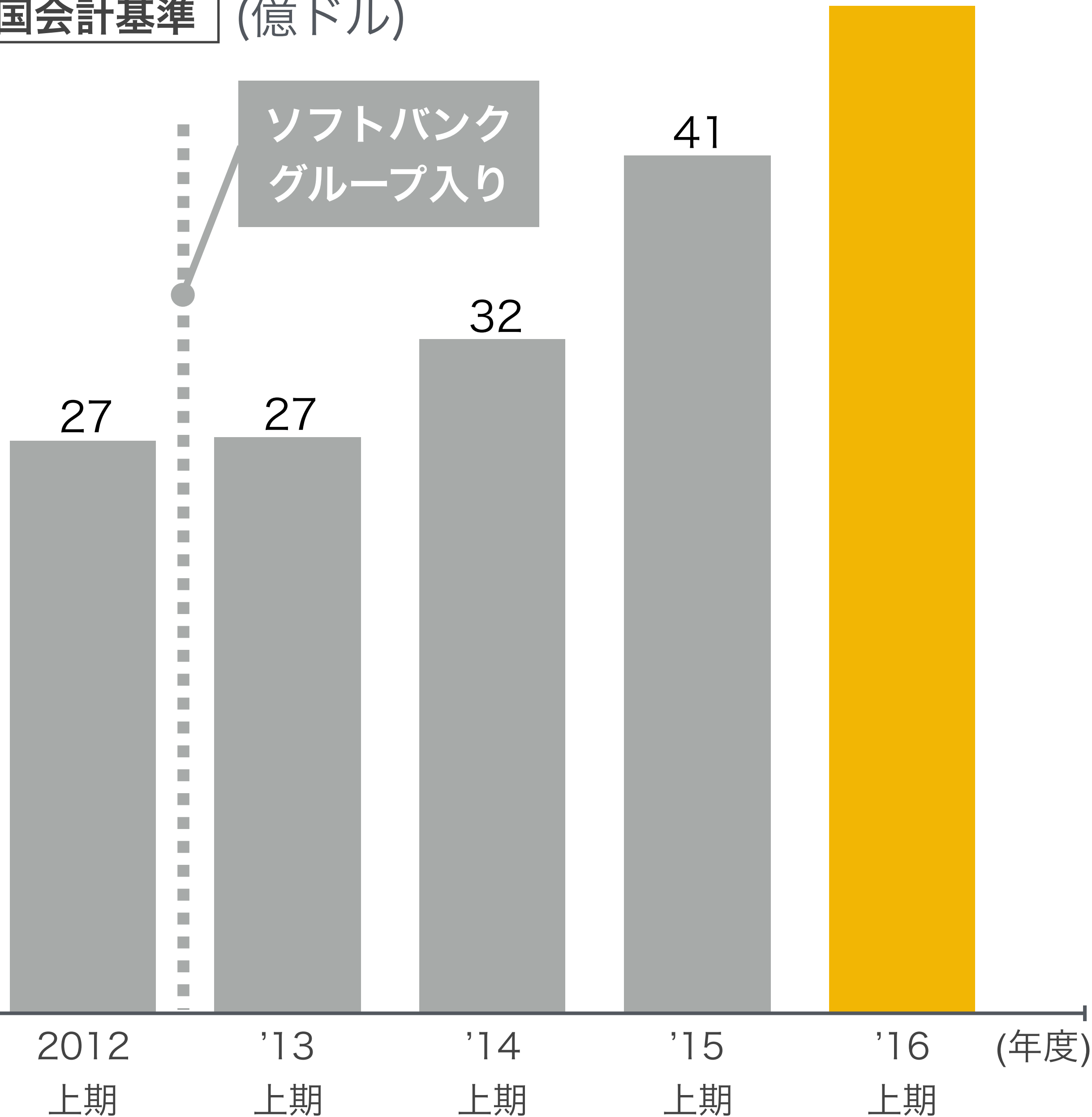
調整後EBITDA



米国会計基準 (億ドル)

48億ドル

ソフトバンク
グループ入り



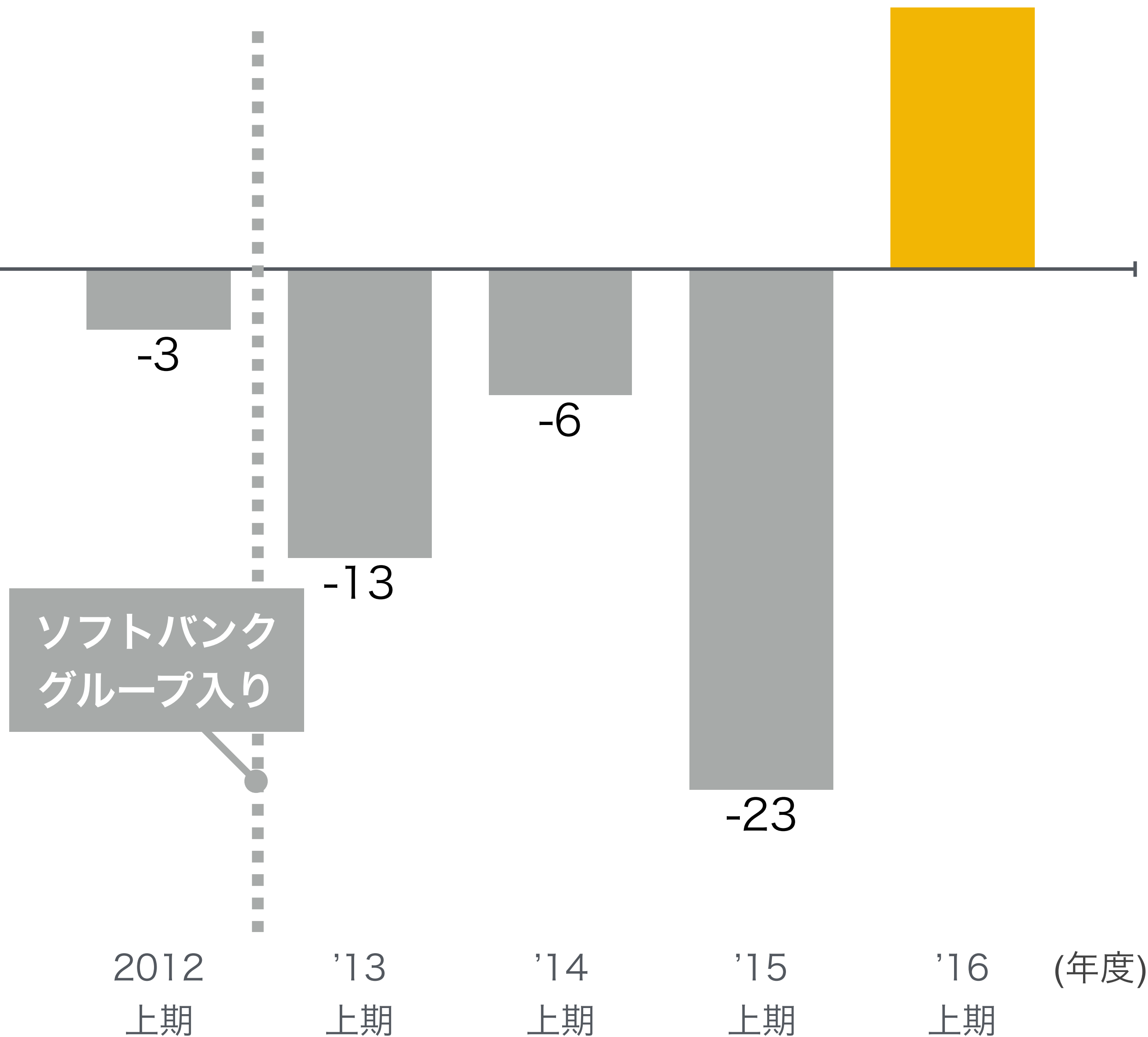
17%増

調整後フリーキャッシュフロー



米国会計基準 (億ドル)

12億ドル

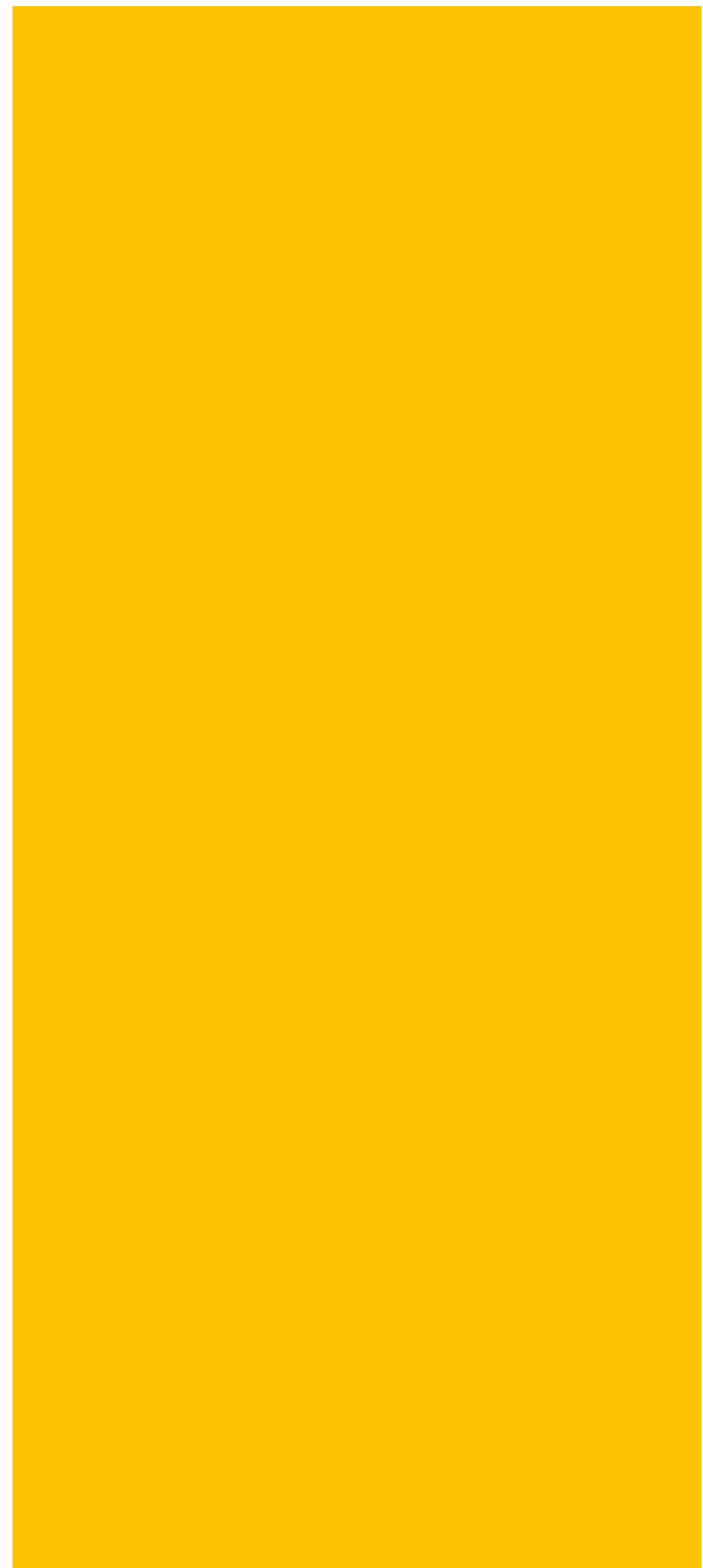
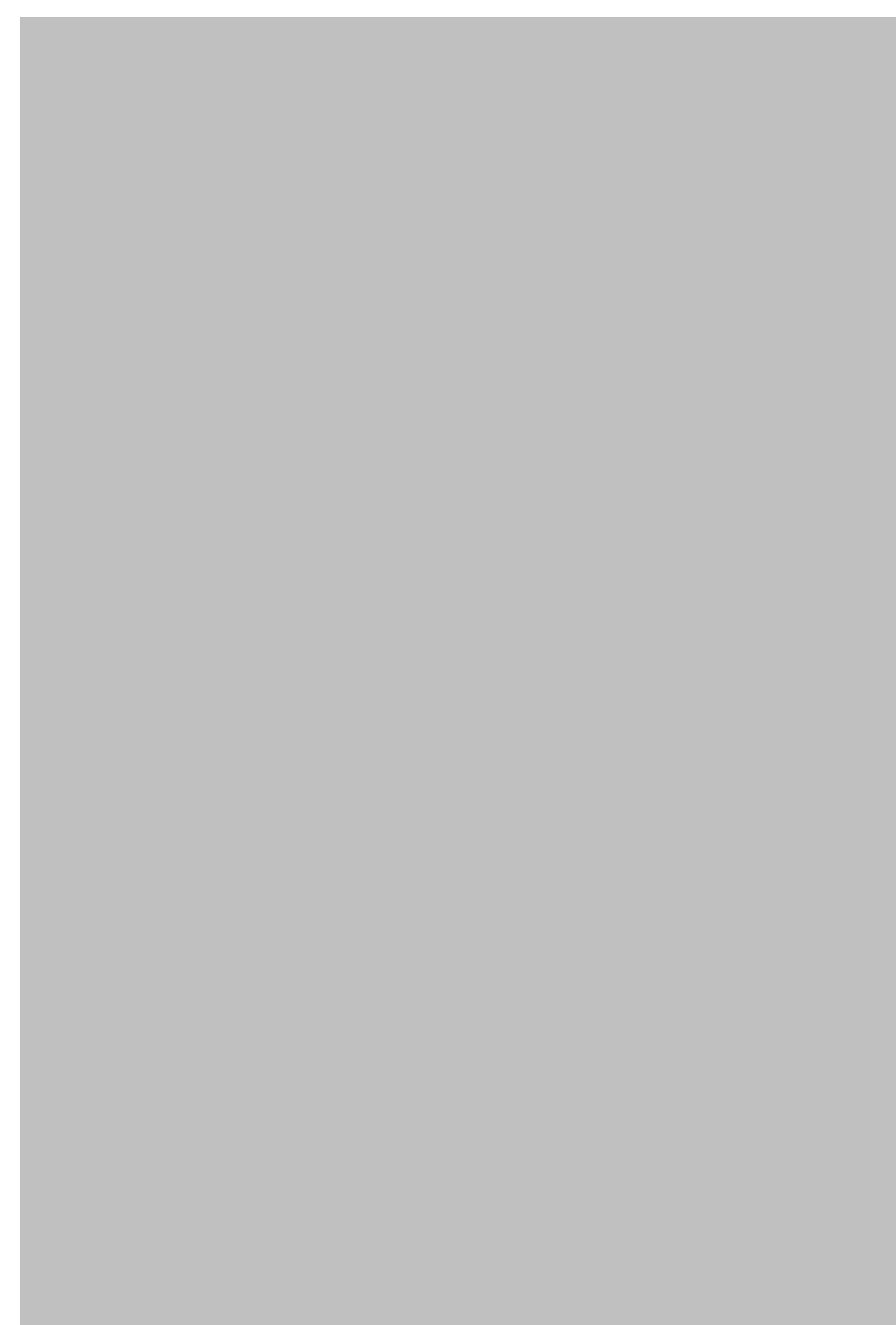


大幅に改善

*上期: 4月~9月
調整後FCF: 営業活動によるキャッシュフロー + 投資活動によるキャッシュフロー (短期投資除く)
+ 将来リース債権の売却による調達と返済の純額

137

90



2016年
上期

2016年
下期

ネットワーク 大幅改善



1

調整後EBITDA 95～100億ドル

2

営業利益 12～17億ドル

3

キャッシュCAPEX 30億ドル未満

4

調整後FCF ゼロ近辺

キャッシュCAPEX: 間接販売チャンネルを通じて提供されるリース携帯端末の影響を除く

調整後FCF: 営業活動によるキャッシュフロー + 投資活動によるキャッシュフロー (短期投資除く) + 将来リース債権の売却による調達と返済の純額

 SoftBank
国内通信事業

Sprint 

 YAHOO!
JAPAN

ARM

 SoftBank
投資資産

ハイライト

1. 増益を継続
2. ディスプレイ広告が成長を牽引
3. ショッピング取扱高が急増

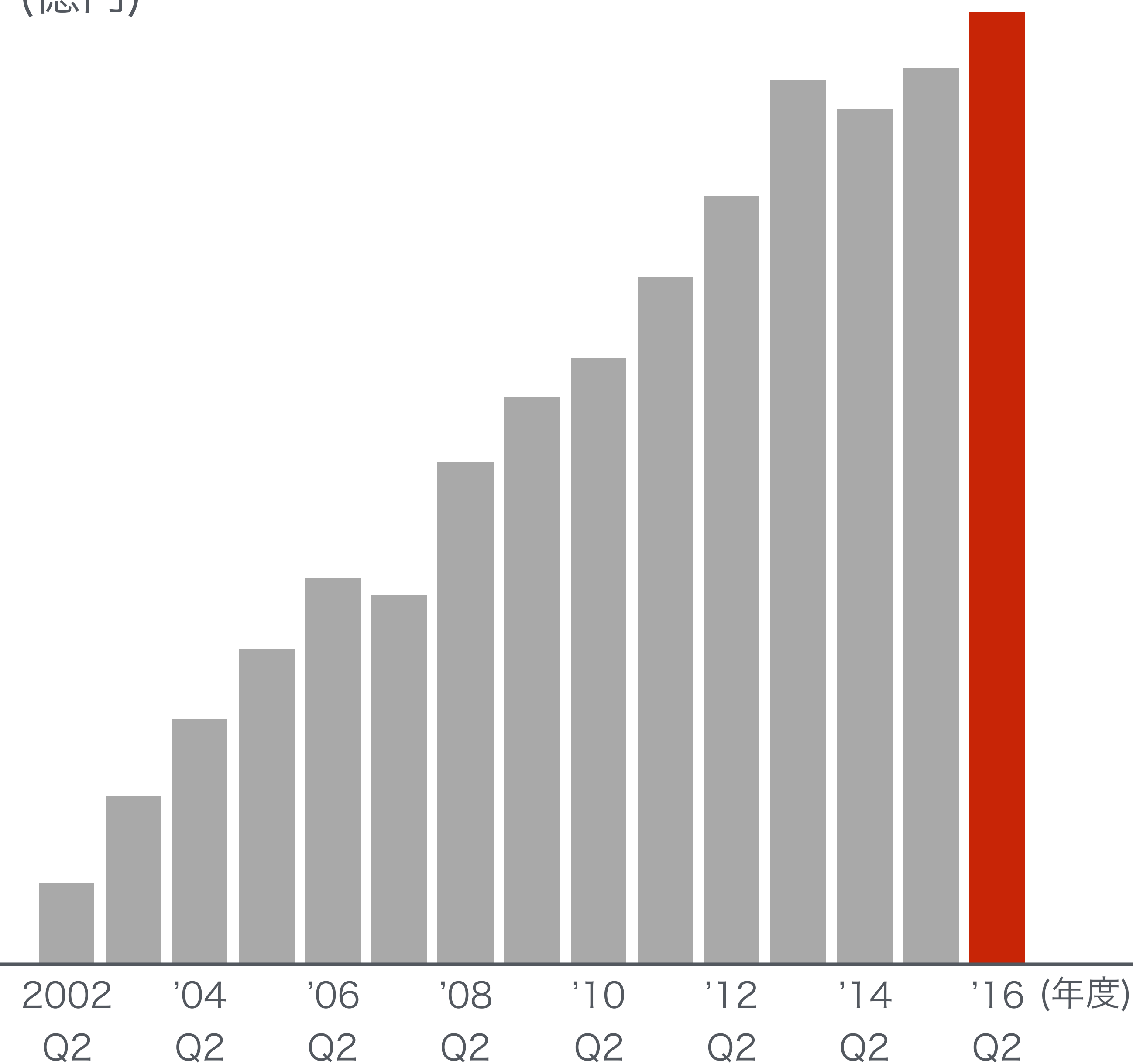
調整後当期純利益



(億円)

336

増益を継続

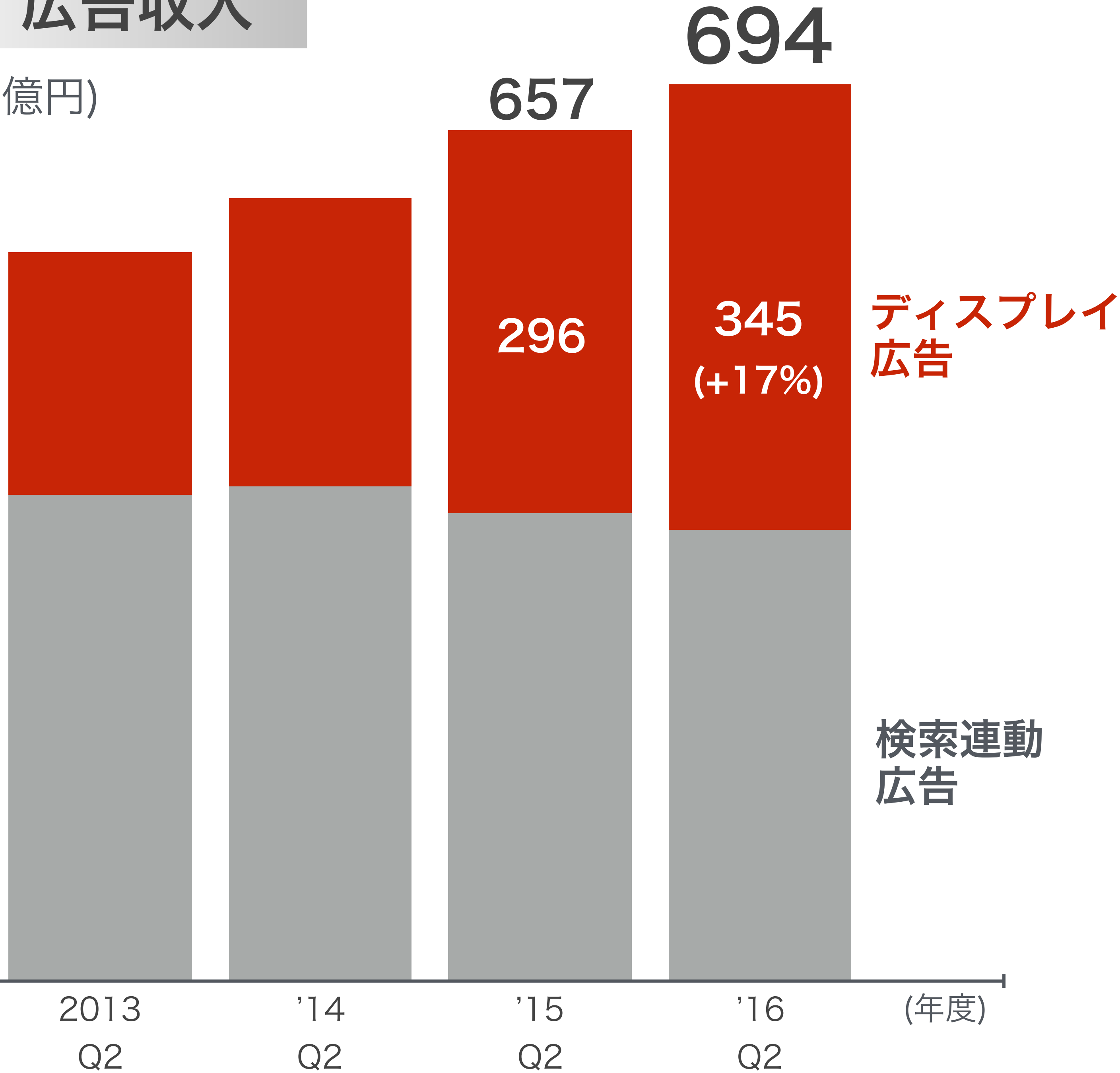


* 2012年度以前：日本基準 2013年度以降：国際会計基準
* FY15 Q2の親会社の所有者に帰属する四半期利益（913億円）は、企業結合に伴う再測定益596億円を差し引き316億円に調整。

広告収入



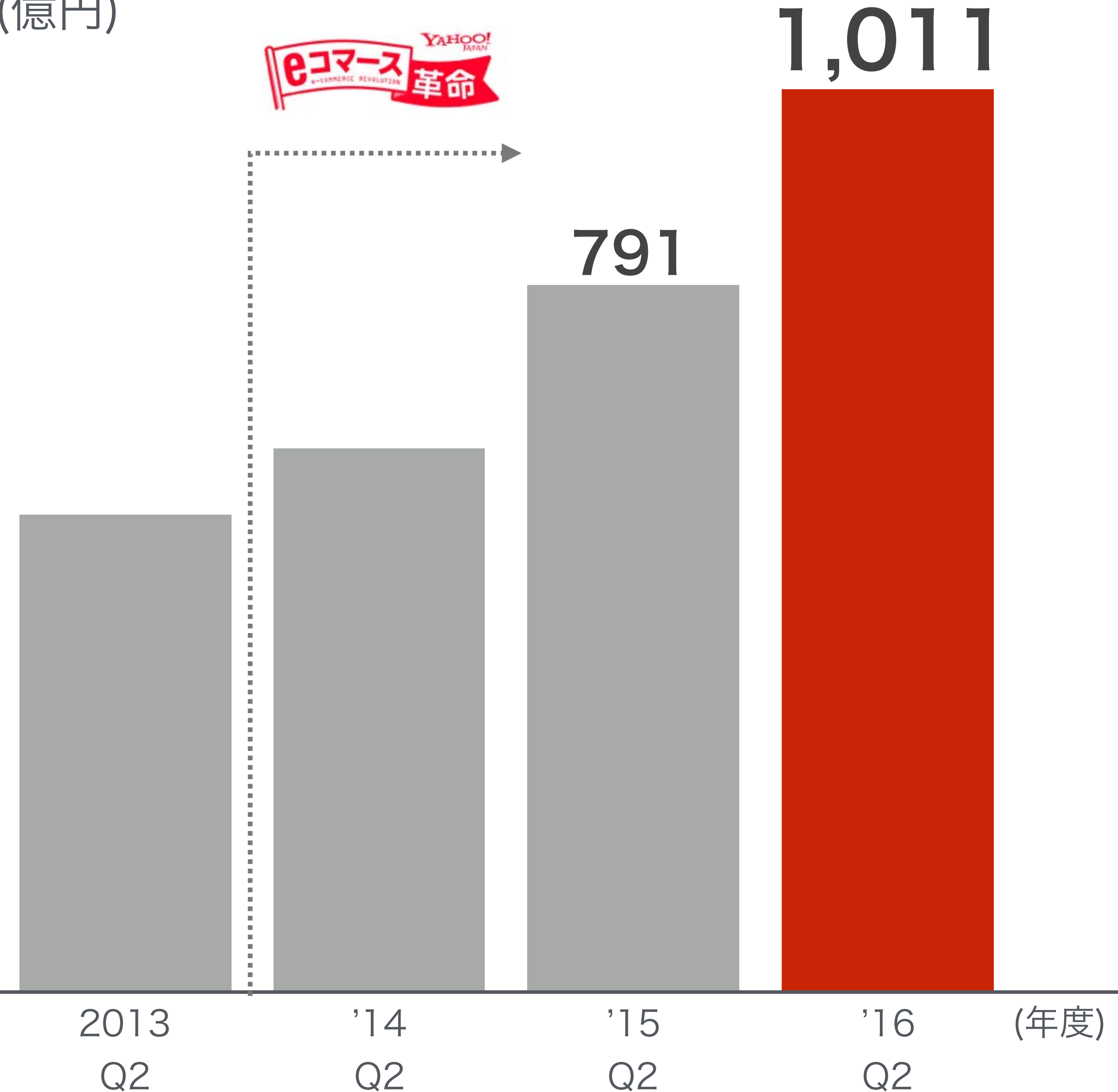
(億円)



ディスプレイ広告が 順調に成長

ショッピング事業 取扱高

(億円)



大幅成長

注: 「Yahoo!ショッピング」、「LOHACO」の取扱高です。
「LOHACO」は、アスクル(株)におけるLOHACO事業の売上高(取扱高、20日締め)です。

ハイライト

1. 買収後も戦略に変更なし
2. 急成長を継続 (16年上期 チップ出荷数 76億個)
3. 様々な産業でARMが採用

ARMとのビジョン共有

2016年9月6～7日

サンノゼオフィス

ARM



既存の戦略を支援・加速



モバイル



ネットワーク
・サーバー



エンベデッド

進捗 95%以上のスマホで採用

戦略 最新技術の提供で
スマホ1台当たり収入を増加



最新技術の普及で収益拡大

*バーチャルリアリティを活用した新体験ジェットコースター“Six Flags Magic Mountain” (カリフォルニア)

進捗

半導体各社が
ARMライセンスを採用

戦略

インテリジェントNWインフラ、
低消費電力サーバーに注力



ポスト京スパコンでARMアーキテクチャーが採用

100倍のパフォーマンスへ





進捗

セキュリティが強化された
2つの新プロセッサを発表



戦略

数十億のセンサーをIoTへ



初の組込プロセッサー

セキュア・小サイズ・省電力

新製品(10月25日発表)

Cortex-A5



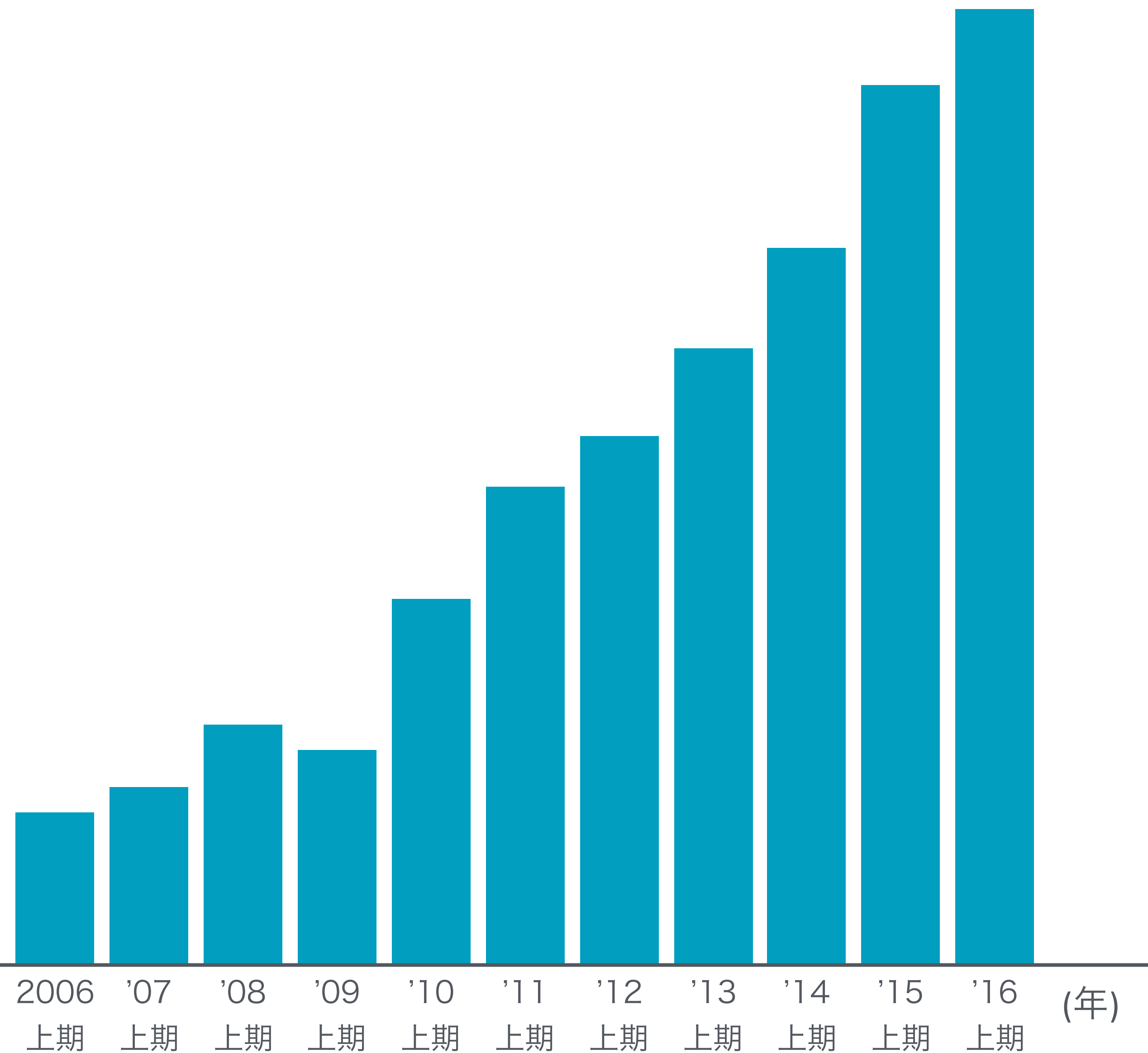
Cortex-M33

80%
省スペース

Cortex-M23

95%
省スペース

76億個



急成長を継続



ARM

1

新技術・市場に継続的に投資

2

成長市場でシェアを拡大

3

IoTの成長機会を追求

 SoftBank
国内通信事業

Sprint 

YAHOO!
JAPAN

ARM

 SoftBank
投資資産

ハイライト

戦略 主要市場のマーケットリーダー

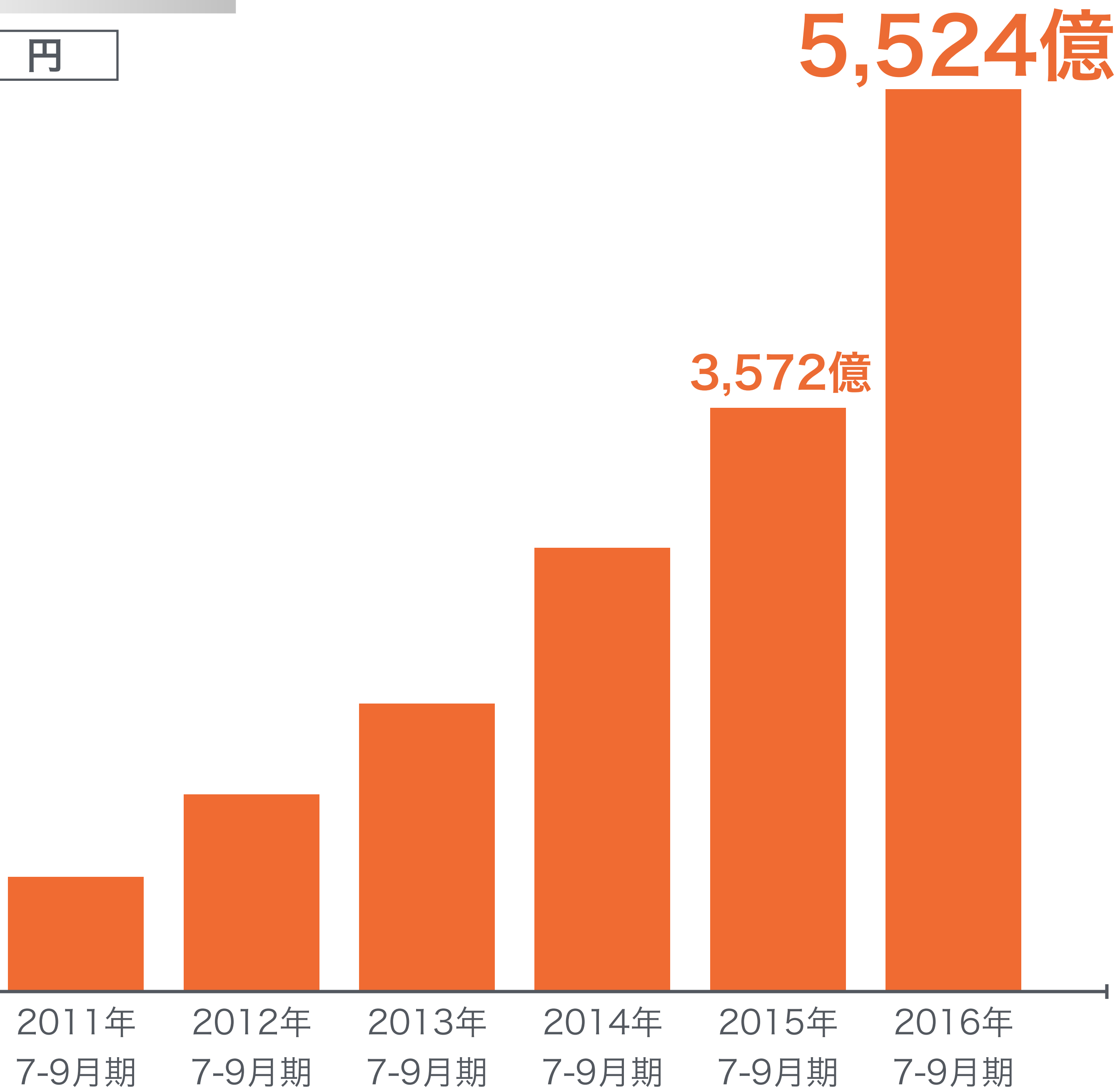
進捗 Alibabaが急成長

売上高

円



米国会計基準



55%増

中国コマース事業が牽引

純利益(税引後)

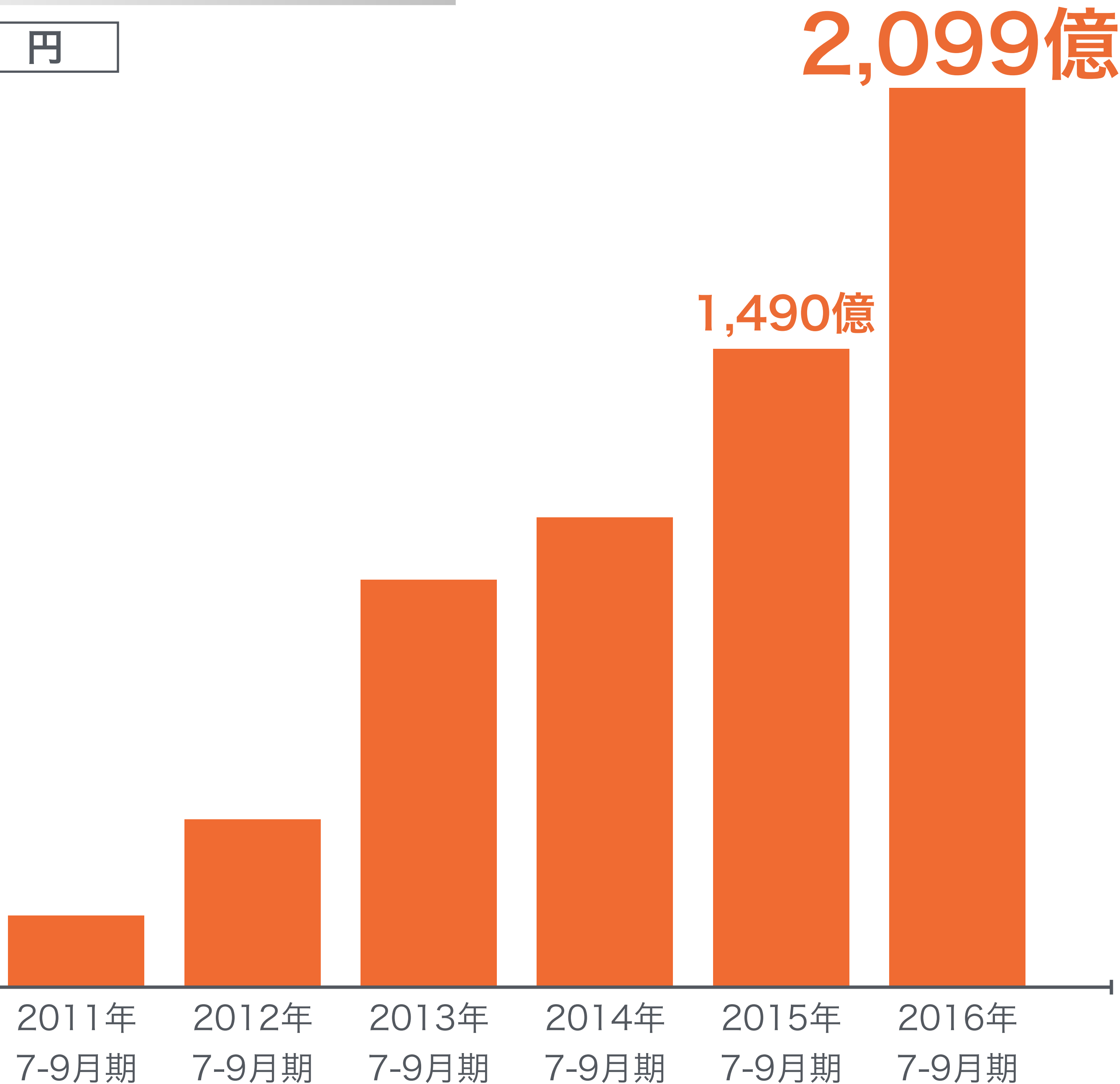
円



米国会計基準

Non-GAAP

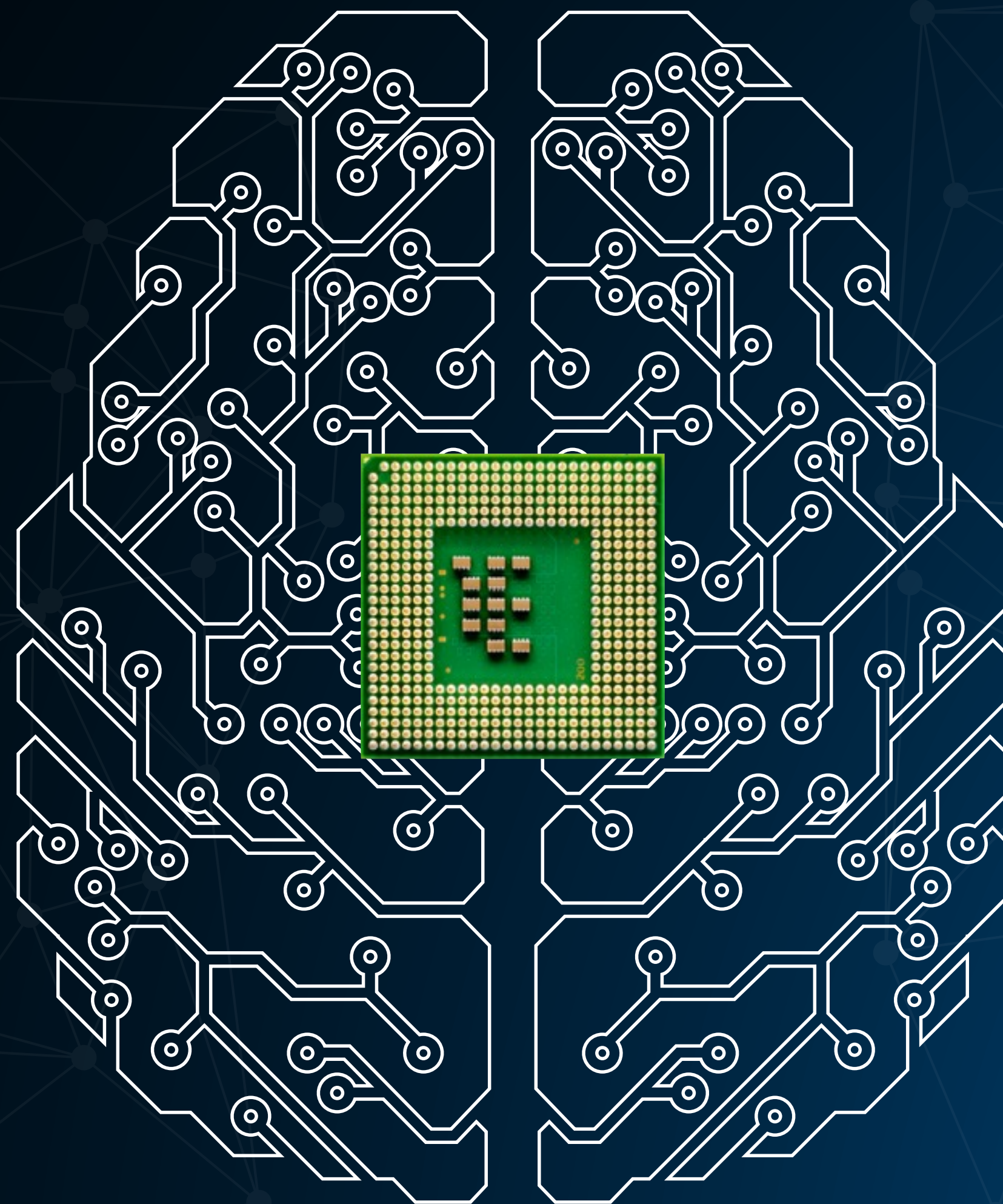
株式報酬費用/無形資産償却/
投資の再評価益等の一時損益を除く



41%増

成長戦略の加速

Singularity



超知性
の誕生

Singularity



未来を予測できる世界



事故のない世界



寿命100歳以上の世界

全ての産業が再定義へ

Singularity

人類史上最大のプロジェクトを
ソフトバンクが牽引



SoftBank Vision Fund

SoftBank Vision Fund

ソフトバンク

250億ドル～

(2.5兆円)

+

サウジアラビア
(PIF)

～450億ドル

(4.5兆円)

+

その他投資家

(協議中)

1,000億ドル規模のファンドへ

(10兆円)

今後5年で投資

投資実績

\$110bn

インターネット企業

IRR 44%

(18年)

15倍

\$7bn

累計投資額

累計リターン額
(1999年-2016年)

Alibaba Group
阿里巴巴。

SUPERCCELL

YAHOO!
JAPAN

YAHOO!

Gungho
Online Entertainment, Inc.

TREND MICRO™

CISCO
(日本法人)

PPTV 聚力
始终和你同一频道

Broadmedia

UTSTARCOM

SBI Holdings

ITmedia Inc.

Vector

SoftBank Technology

CCI
CYBER COMMUNICATIONS INC.

投資実績

\$32bn

4倍

\$7bn

累計投資額

累計リターン額
(1999年-2016年)

インターネット企業
(Alibaba除く)

IRR 43%

(18年)



投資実績

\$190bn

インターネット企業
(SBM・Sprint含む)

IRR 43%

(18年)

7倍

\$30bn

累計投資額

累計リターン額
(1999年-2016年)

Alibaba Group
阿里巴巴

Sprint

YAHOO! JAPAN

SoftBank

GungHo
Online Entertainment, Inc.

SUPERCELL

TREND MICRO

YAHOO!

CISCO
(日本法人)

PPTV 聚力
始终和你同一频道

Broadmedia

UTSTARCOM

SBI Holdings

ITmedia Inc.

Vector

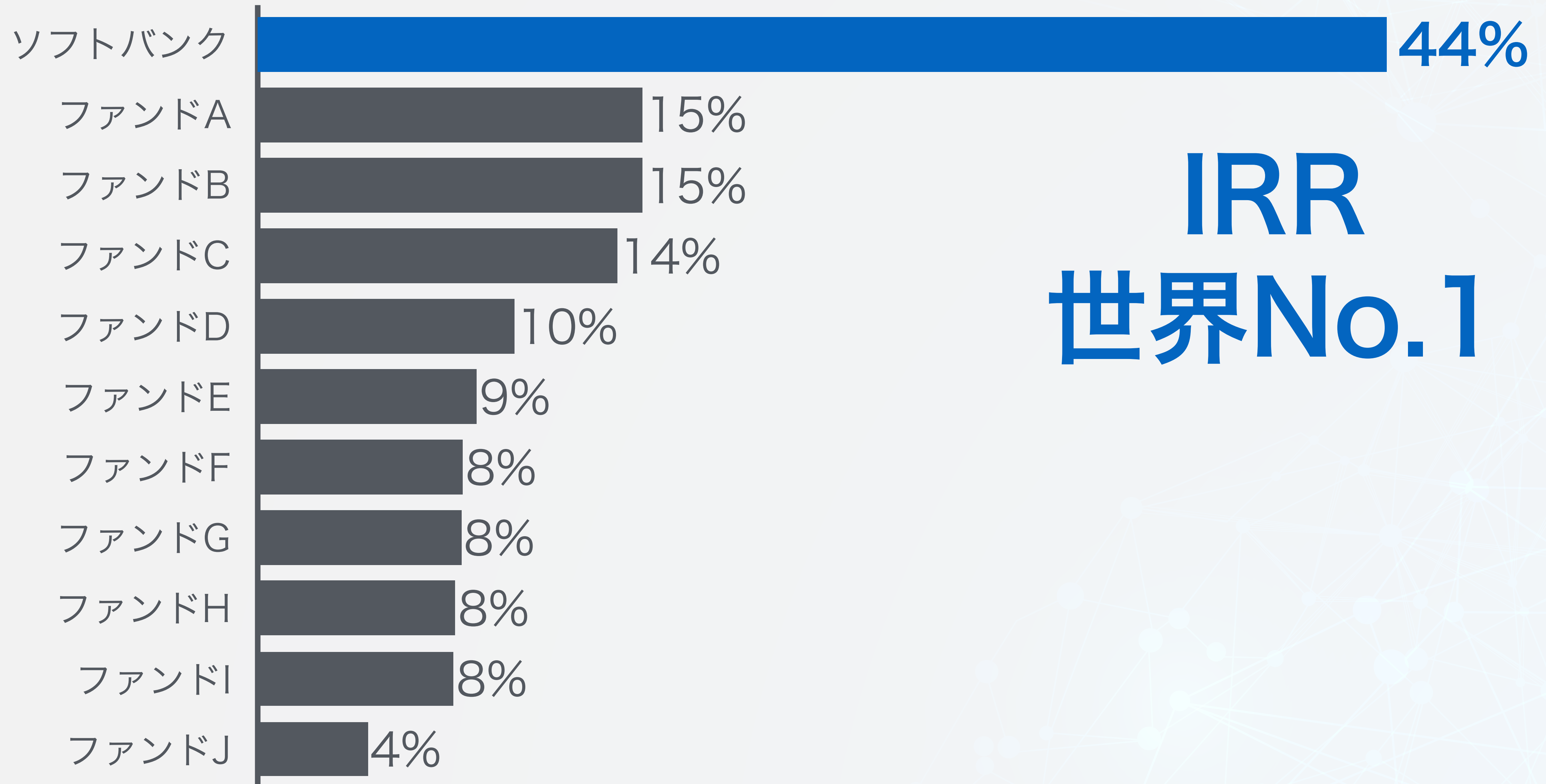
SoftBank Technology

C C I
CYBER COMMUNICATIONS INC.

*1 (為替レート) 102円 / 米ドル, 2016年9月20日時点

*2 ソフトバンクモバイル事業 (旧ボーダフォン日本法人) 、スプリント含む

IRR実績 (vs世界主要10ファンド)



IRR
世界No.1



**サウジアラビア王国 ムハンマド・ビン・サルマン副皇太子との面談
(2016年10月 サウジアラビア 首都リヤド)**

今後の財務方針

レバレッジを数年以内に3.5倍へ

数百億円以上の戦略的投資はファンド経由へ

SoftBank Vision Fund

テクノロジー分野の最大級プレイヤーへ

さらなる成長へ

 SoftBank
Group

1. IFRSの適用について

2013年度よりIFRS（国際会計基準）を適用しています。2012年度についてもIFRSに準拠して表示しています。

2. 本資料中の用語の定義等について

フリーキャッシュフロー(FCF、純現金収支) : 営業活動によるキャッシュフロー+投資活動によるキャッシュフロー

EBITDA(IFRS) : 売上高 - 売上原価 - 販売費及び一般管理費 + 減価償却費及び償却費

EBITDA(日本基準) : 営業損益+減価償却費+のれん償却費

有利子負債(IFRS) : 借入金+社債+リース債務+割賦購入による未払金+コマーシャル・ペーパー+優先出資証券

有利子負債(日本基準) : 借入金+社債+コマーシャル・ペーパー。リース債務を含まず。

純有利子負債 : 有利子負債-手元流動性

3. 登録商標・商標について

本資料に掲載されている会社名、ロゴ、製品名、サービス名およびブランドなどは、ソフトバンクグループ株式会社または該当する各社の登録商標または商標です。

本資料の一部あるいは全体について、当社の許可なく複製および転載することを禁じます。

- iPhone、iPadはApple Inc.の商標です。

- iPhone商標はアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。